



鳥取市教育センターだより

第5号 令和2年3月12日発行

〒680-0053
鳥取市寺町150番地
TEL 0857-36-6060
FAX 0857-26-3878
E-mail
kyo-center@city.tottori.lg.jp

自分の根っこをしっかり張って大きく飛躍！

所長 東田 重高

早いもので令和元年度も残りわずかとなり、春の到来を感じる季節となりました。皆様の御支援により、本年度の鳥取市教育センターの事業も無事終了しつつあります。



「すべての子どもが しあわせになるために」を合言葉に、教職員研修、適応指導教室の運営等、さらなる充実を図りながら事業に取り組んできました。子どもたちも教職員も、この時期に1年間の成長を実感し本年度の締めくくりができることを願っています。各学校で子どもたちは、自分にとって安心できる心の居場所を感じながら少しずつ自信をつけてきていると思います。このことは、すなはまの通級生にとっても同じです。多様な学びの場で1年間蓄えたエネルギーをもとに、子どもたちが笑顔で元気よく活躍してくれることを期待しています。

暖冬の影響で例年よりかなり早く多くの花が咲いていますが、生命力が強い植物としてタンポポがよく取り上げられます。どんなに日照りが続いても、どんなに人に踏まれても枯れることなく咲いている我慢強い植物です。また、整備された花壇ではない道端であっても、自分らしく咲ける場所で逆境を苦にせず元気に振る舞っているかのように咲くタンポポ。そのたくましさに私たち人間もあやかりたいと思うことがしばしばです。タンポポの強さの秘密は、その根っこにあるそうです。右の写真のように、こんなに長い根っこがあることを知っていましたか。例えば、草丈が14cmのタンポポでも根が60cm~100cmにもなるそうです。夢や希望の実現に向けて子どもたちと教職員が、タンポポのように自分に合った学びの場で培ったエネルギーを蓄えて根っこをしっかり張り、自分らしい花を咲かせてほしいと願っています。



このように、子どもたちと教職員が「自分の根っこをしっかり張って大きく飛躍すること！」を願いながら、新年度も学校教育の充実、発展のために支援できるよう鳥取市教育センター職員一同努めてまいります。今後とも御支援・御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

研修企画係

研修と学校をつなぐ

今年度、集合研修で記入した「わたしの研修とマネジメントサイクルシート」を各学校に持ち帰って実践に活かすとともに、「研修と学校をつなぐ」を合言葉に研修講師活用、サポート研修、次代を担うとっとり教職員派遣事業などを実施しました。どれも各学校から大変好評いただいている取組です。特にサポート研修では、国の最新の教育情報に加え各学校の実情に応じた学校支援をしています。

このサポート研修の特徴の1つに「中堅教諭等資質向上研修であった内容を校内研修でも学びたい」「教頭研修の内容を中学校区全体で学びたい」といった声にお応えし、研修の学びを広げることがあります。各学校の教育目標実現と魅力ある学校づくりのために、来年度もぜひ御活用ください。

令和元年度サポート研修実施一覧

		派遣先	テーマ・内容	対象
1	5月15日(水)	小教研生活・総合部会	◆授業づくり 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、生活科・総合的な学習の時間の指導の理解と実際	部員 80名
2	6月4日(火)	河原第一小学校	◆授業づくり 算数科における河一スタンダードと児童の発言をコーディネートする教師の発問や問い返し	職員 20名
3	6月5日(水)	国府東小学校	◆授業づくり 自らつながりたくましく生きる児童の育成をめざした授業づくり	職員 15名
4	6月26日(水)	末恒小学校	◆学級づくり・集団づくり 子どもたちのよりよい人間関係づくりに向けたアセスの活用	職員 20名
5	6月26日(水)	国府東小学校	◆授業づくり 自らつながりたくましく生きる児童の育成をめざした授業づくり(外国語活動)	職員 15名
6	7月3日(水)	国府東小学校	◆授業づくり 自らつながりたくましく生きる児童の育成をめざした授業づくり(生活科・総合的な学習の時間)	職員 15名
7	7月10日(水)	富桑小学校	◆学級・集団づくり 子どもたちのよりよい人間関係づくりに向けたアセスの活用	職員 16名
8	7月17日(水)	津ノ井小学校	◆授業づくり 主体的・対話的で深い学びを展開する道徳授業の工夫	職員 20名
9	7月23日(火)	若葉台小学校	◆授業づくり 総合的な学習の時間の年間指導計画作成に向けての単元構成と主体的・対話的で深い学びの考え方	職員 20名
10	7月24日(水)	高草中学校	◆学級・集団づくり アセスの活用方法と結果の見取り方	職員 30名
11	8月7日(水)	気高中学校区保育園・小学校合同研修会	◆特別支援教育 愛着障がいが見られる園児・児童への関わり方及び保護者啓発と保育園と小学校へのスムーズな移行及び支援のあり方	教職員 50名
12	8月7日(水)	小教研生活・総合部会	◆授業づくり 生きる力を育む生活科・総合的な学習の時間のための思考ツールを使ったワークショップ	部員 80名
13	8月20日(火)	倉田小学校	◆授業づくり 進んで課題に取り組み、楽しく学び合う算数の授業づくり	職員 20名
14	8月23日(金)	若葉台小学校	◆授業づくり 総合的な学習の時間の年間指導計画作成に向けての単元構成と主体的・対話的で深い学びの考え方	職員 5名
15	8月26日(月)	若葉台小学校	◆授業づくり 総合的な学習の時間の年間指導計画作成に向けての単元構成と主体的・対話的で深い学びの考え方	職員 5名
16	9月4日(水)	醇風小学校	◆授業づくり つながり合い、主体的に学び続ける児童の育成(国語・生活科・総合的な学習の時間)	職員 20名
17	9月11日(水)	桜ヶ丘中学校	◆学級・学校づくり アセスの見取り方と生徒理解・支援への活かし方	職員 55名
18	10月9日(水)	河原第一小学校	◆授業づくり 算数科における河一スタンダードと児童の発言をコーディネートする教師の発問や問い返し	職員 20名
19	10月23日(水)	国府東小学校	◆授業づくり 自らつながりたくましく生きる児童の育成をめざした授業づくり	小教研 会員 100名
20	11月20日(水)	西郷小学校	◆授業づくり 自分の考えを伝え、互いに深め合う道徳の授業づくり	職員 9人
21	11月27日(水)	北中学校	◆学級づくり 子どもたちのよりよい関係づくりに向けたアセスの活用	職員 47人
22	12月4日(水)	河原中学校区合同研修会	◆授業づくり 幼保小中連携を視点とした授業改善と新学指導要領の方向性	職員 70人

研修と学校をつなぐ 主な取組

◆研修講師活用

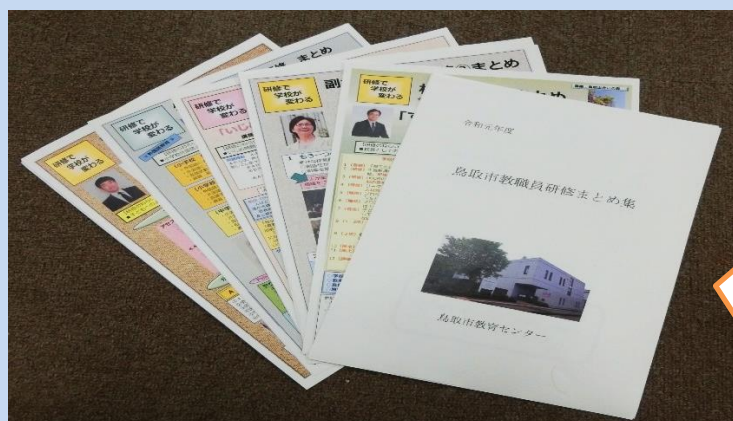
- ・研修講師による学校訪問で直接助言
- ・研修日午前2時間程度
(授業参観と助言)
- ・学校の準備は必要なし

◆サポート研修

- ・市教委の指導主事を派遣
- ・要請に応じた参加型研修
- ・随時申込み可能
- ・各学校や中学校区、教育団体の研修に活用

◆次代を担うとっとり教職員派遣事業

- ・県外の先進的な取組をしている学校・研究機関へ1週間程度派遣
- ・派遣先について相談可能
- ・学校による費用負担なし



講座の内容がコンパクトでわかりやすいと好評いただいている「研修のまとめ」。毎回、教育センターホームページやC4th書庫などで提供していますが、1年間分をまとめて冊子にしたものを各学校へお届けします。来年度の校内研修計画や取組の参考などに御活用ください。

特別支援教育係

この一年間を通じて、「すなはま」「レインボー」には、児童7名、生徒10名が入級し、本人の状況やニーズに合わせた来所がありました。また、体験入級を行った児童生徒も、年間を通じて複数名ありました。

「すなはま」「レインボー」では、児童生徒自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することをめざしており、体験活動を重要な取組の柱の一つとしています。原則火曜日に実施しましたが、入級児童生徒以外も含め、年間延べ263人の参加がありました。

体験活動には「勤労生産的活動」「創造・文化的活動」「自然社会活動」「社会体験活動」の4つの領域を設けており、地域や自然の良さを感じたり、社会性や自己肯定感を育んだりしてきました。

体験活動を終えた児童生徒の笑顔からは、活動を通して得られた満足感や充実感、芽生えてきた自信が伝わってきました。

この1年間の体験活動の中から、思い出深かった活動を御紹介します。

勤労生産活動

～すなはま農園でダイコン栽培～

9月に種まきをしたダイコンは大変大きく育ちました。みそ汁を作ってお弁当と一緒に食べたり、しょうがと煮込んで漬物にして家族に食べてもらったりしました。

栽培活動は子どもたちを元気にしてくれました！



自然体験活動

～ポニー牧場乗馬体験～

馬やポニーと気持ちやリズムを合わせゆっくりとしたペースで乗馬体験をし、怖さはすぐなくなりました。

いつの間にかみんな笑顔で乗馬を楽しみました！

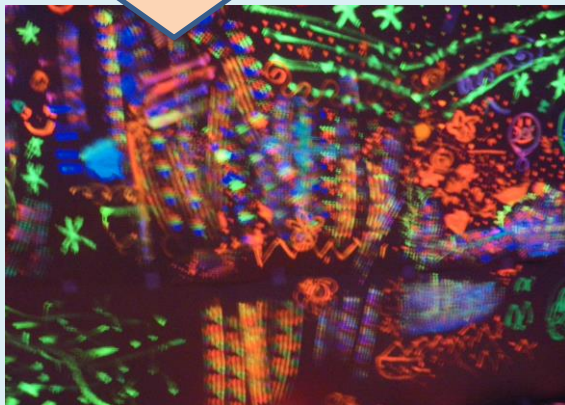


創造・文化的活動

～アート出前講座～

鳥取県立博物館の教育普及担当専門員によるアート体験を行いました。教室を光が入らないよう真っ暗にし、ブラックライトを点灯すると、絵の具が光り、幻想的な世界が広がりました。

アートの魅力に引き込まれました！



社会体験活動

～交流活動～

デイサービスに出かけて、一生懸命練習した手話を交えた「さんぽ」（歌）、「はらぺこあおむし」のペープサート劇、ハンドベルによる「ふるさと」を披露しました。

人とのふれあいと通所者からの温かい拍手と笑顔が、子どもたちの役立ち感と達成感につながりました！



1年間の体験活動を通じて、子どもたちの心にエネルギーが蓄えられ、次の活動への意欲や主体性につながってきたと感じています。

体験活動に御協力いただきました関係者の皆様へ感謝いたします。